

○事業所名	放課後等デイサービス ぐりんぴーす				
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 10日	～	令和6年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名	
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 10日	～	令和6年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 15日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達の特徴をつかみ、職員間で共有することでテーマを決めて、そこからの取り組み立案を行っています。	毎月、テーマを決めて子ども達にわかりやすく取り組みに参加できるよう工夫をしています。	子ども達の興味、成長に応じて、それを日頃の関わりから、小さな発見を見逃さずに取り組みに活かすこと。
2	子ども達が自分の意思を相手に伝えていけるように日頃からのあいさつ、とりくみ、イベントを通じた支援を行っています。	自分がいいと思うことを言って頂く。 そのためには子ども達との信頼関係の構築が必要。 そこの空気感づくりを、事業所として大事にしています。 おやつ前には、発声練習を行い言葉を出す！ 日々の関わり、利用から伝える力を育てています。	同じ内容で、子供たちが飽きのないように伝え方や表現方法を工夫して継続して行うことが大切だと思います。
3	保護者との関わりや困ったときの柔軟な対応	ご相談内容や困りごとを伺い、ご協力できることは事業所としてサポートをしています。	送迎時や面談を行った際に保護者に寄り添ったお話が出来るように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりや保育園との情報共有についてが課題	自立支援連絡協議会への参加を通じて、地域の情報を知る。	そこでの情報をもとに関係機関との連携を図ります。
2	保護者会やペアレントトレーニングが充分に行えていない。	感染症予防で、集まる機会が限られてきた中で行えませんでした。	今後、イベントや研修の情報を入手して、保護者の方が楽しみながら参加できる機会を増やしていきます。
3	職員の配置数(看護師や同性介助のための人員補充、採用)	医療的ケアが必要な方が安心して通えるように看護師の補充を考え、求人を出しているがなかなか応募がなく、ご迷惑をおかけしています。	待遇等、考慮して応募が来るように努力をしていきます。 また、同性介助の観点から指導員についても募集を行っています。入職後の研修を通じて、資質向上にも努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス ぐりんびーす					公表日	令和6年 10月 15日	
					利用児童数	令和6年 9月 30日 回収数 3名/3名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1		看護師職員の補充採用を行い、安心してお子様が通えるよう努めています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1		ホームページにて支援プログラムを公表しました。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1				分かりやすく説明するように努めています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3						
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1				2	連携づくりを今後の課題として検討していきます。また、イベントなどに参加をして交流が持てるように工夫していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				1	個別支援計画書になります。成長に応じて支援計画を見直させていきます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1			1	研修会につきましては、外部研修の情報などをお知らせしていきます。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	3						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			1	より丁寧なご説明が出来るよう工夫していきます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1	1	10月のハロウィンパーティーにて、ご家族の参加での交流が出来るよう努めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				1	通信、ホームページ、X、instagramでの情報発信を行っていますが、更新が滞らないようにしていきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1			非常食が1日分と少ないので、可能であれば改善をして欲しい。	今回、災害時に備えて3日分の非常食を用意することとしました。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				1	災害時、感染症のBCP作成。安全計画の策定やマニュアルを作成し、それに基づいた対応を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				1	ご不安を抱えないように努めています。
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29 事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス ぐりんぴーす

公表日

令和6年 10月 15日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		バリアフリーではあるが、接触等の危険な場面の想定が必要。	車椅子移動の際に、周りを確認しながらの移動を職員に周知していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	看護師の補充が必要。	医療的ケアが必要なお子様のための安定して通えるよう看護師の採用を進めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		入り口から車椅子のまま、入れるバリアフリーになっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		空気清浄機が3台、稼働しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		週1回の会議を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		会議、打ち合わせ、情報共有メモの活用で意見を収集しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		会社として、第3者機関の外部評価を今後の課題とします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修スケジュールを組み、必要に応じて他の研修を受けている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		各月の取り組みテーマ案を職員に提出してもらい立案しています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		毎月、異なるテーマをもとに日替わり取り組みの実施	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		業務終わりに情報共有メモを作成。全職員がその日の様子を知ることが出来る。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4	主治医からの指示書を頂いての医療的ケアを行っています。まだまだ関係機関との連携を構築していく必要があります。	関係機関との連携強化が図れるように努めています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	保育園の保育士さんや看護師さんとの情報共有を行っています。	ご家族とも相談のうえ、今後の進路の際の相談や情報共有を行っています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	まだ移行した児童がいない。来年度以降、小学校に上がる方に情報共有をお伝えしたいです。	ご家庭とご相談のうえ、協議していきます。
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3	自立支援連絡協議会への参加をしています。児童部会にて発達センターとの協議、助言を受けています。	熟田区自立支援連絡協議会への参加を通じた機会の構築を図ります。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9		交流の場の課題解決に向けて、機会の構築を図ります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		家族支援のための研修がありましたら、お伝えしていきます。	
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者ランチ会の開催。 今年度から事業所でのイベントに保護者が参加できるようになりました。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		スペースの問題もあり、地域の方を授業所へ招き入れることはないですが、テナントの入っているマンション付近の掃除をする等行っています。
非 常 時 等 の 対 応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		医師の指示書までは頂いていないので、今後、必要な方については指示書を頂きます。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9				